

3 県立長野図書館

(1) 図書館事業の概要

図書館が、多様な県民の学びを支える「地域の情報拠点」としての役割を果たすため、県立図書館を中心に様々な情報を生かした新しい図書館づくりを推進した。

ア 資料の充実（郷土資料・一般図書・児童図書等）

イ 新たな情報資源の導入（コーディングゲーム等）

ウ データベース等の情報提供の充実

エ 調査相談サービスの充実

(ア) レファレンス協同データベースへの事例登録・提供の促進

オ 図書館間貸出の促進

(ア) 市町村図書館等支援用資料の充実（郷土資料、専門資料等の充実）

(イ) 資料返却費用の支援

カ 公共図書館、学校図書館、図書館未設置町村の支援

(ア) 各館の状況に応じた運営支援の実施

(イ) 広域単位での研修の企画・実施、開催支援、講師派遣

(ウ) 地区ブロック会議への出席等による広域連携に向けた連絡調整及び支援

(エ) 図書館設置準備支援

(オ) 公式 Facebook ページ等を通じた情報発信の強化

キ 遠隔地サービスの充実

(ア) インターネット予約貸出の実施

(イ) 遠隔地返却窓口の設置

(ウ) 複写物郵送受取

ク 長野県図書館協会との連携活動の推進

(ア) 第 69 回長野県図書館大会（東御市）

(イ) 公共図書館職員研修会の開催

ケ 関係機関との連携活動の促進

(ア) 信州大学附属図書館との連携（職員交流研修の実施）

(イ) 株式会社バリューブックス（上田市）との連携協定締結

(ウ) 信州大学教育学部附属次世代型学び研究開発センター・Fablab 長野（長野市）、株式会社アソビズム（東京）と三者の連携覚書締結

(2) 職員組織 (人)

館長 1 総務課 3 企画協力課 5 資料情報課 11 行託 14

(3) 県立長野図書館協議会

委員の構成

職	氏名	所属・職名等
会長	森 いづみ	信州大学附属図書館 副館長
委員	大口 知子	ゆめサポママ@ながの 代表メンバー
	大林 晃美	NPO法人本途人舎 代表理事
	篠原 由美子	ながの子どもと本をむすぶ市民の会 会員
	辻井 まどか	茅野市図書館 館長
	西山 卓郎	株式会社バリューブックス 社員
	町田 典幸	長野市立篠ノ井東中学校 教諭
	棟田 聖子	松川村図書館 館長

(任期 平成31年1月1日から令和2年12月31日まで)

(4) 図書館資料 (令和2年3月31日現在)

ア 図書資料

(ア) 図書 総数 717,104 冊

(令和2年度受入数 11,429 冊 (うち購入 7,703 冊、寄贈 3,726 冊)
令和2年度除籍数 158 冊 (重複蔵書の整理によるもの))

(イ) 雑誌・新聞 雑誌 761 タイトル

新聞 97 タイトル

(ウ) 文書記録 268 点

(エ) マイクロフィルム 9,929 リール

イ 視聴覚資料

(ア) 16 ミリ映画フィルム 2,260 本

(イ) ビデオテープ 3,036 本

(ウ) DVD 179 本

ウ 商用データベース 16 件

(5) 館内利用状況

開館日数 290日 【平日】183日 【土日祝】107日
入館者数 328,844人 1日平均 1,134人

(6) 調査相談

県民等から寄せられるさまざまな調査・相談に対して図書館の資料に基づいて回答するレファレンスサービスを実施した。

調査相談件数 (分類別)

(単位：件)

分類	口頭	電話	文書、FAX、 メール	計
郷土	307	197	191	695
総記	34	18	3	55
哲学	56	22	2	80
歴史	205	37	3	245
社会科学	196	36	8	240
自然科学	174	19	6	199
技術	115	12	0	127
産業	97	11	6	114
芸術	159	8	5	172
言語	46	22	1	69
文学	240	49	1	290
利用案内等	953	2,138	0	3,091
計	2,582	2,569	226	5,377

(7) 図書館間貸出

県民等が必要とする図書館資料を最寄りの公共図書館等を通じて提供する図書館相互の貸借を行った。

図書館相互の貸借冊数

(単位：冊)

図書館等		区分	貸出	借受
		県内	公共図書館	1,190
公民館図書室	506		0	
学校図書館	1,904		0	
その他機関	17			
県外		163	101	
合計		3,780	204	

(8) 行政機関等への支援状況

区分	令和元年度	
	件数	貸出冊数
行政機関等への特別貸出	6	9
区分	件数	
図書館・行政機関等へのレファレンス	78	

(9) 図書館改革への取り組み—「本の館」から「地域の情報拠点」「知と創造の場」へ

地方創生の新たな時代に対応し、情報・知識基盤社会における多様な県民の「知の拠点」としての役割を果たすため、「情報の改革」「人の変革」「場の革新」により県全体の図書館サービスの中核たる県立図書館としての機能を強化し、公共図書館と共に様々な情報を活かした新しい図書館づくりを推進した。

そうした取組みを推進するプロセス等が評価され、これからの図書館のあり方を示唆するような先進的な活動を行っている機関に対して NPO 法人知的資源イニシアティブが毎年授与する「Library of the Year 2019 優秀賞」を受賞した（令和元年 11 月）。

ア 信州発「これからの図書館フォーラム」の開催

新たな時代にふさわしい図書館のあり方について提案、議論する場を展開

- ・「信州発・これからの図書館フォーラム」(R元.8-R2.2 全10回)
- ・「長野県公共図書館館長研修会」(R元.5-9 全2回)
- ・「ラボ・デザイン会議」等(H31.4-R2.2 全10回)
- ・「長野県図書館大会公共図書館部会分科会『公共図書館における広域連携の可能性』、『“みんなの学校図書館”のつくりかた』」(R元.11.9) など

イ 市町村図書館・学校図書館への支援

- ・「木曾郡内学校図書館司書研修会：活用のために学ぶ修理技術」(主催：木曾郡司書部会)(R元.8.19)
- ・「北信公共図書館連絡協議会職員研修：“世界の入口”のみつけかた～知るって楽しい！をプロデュース」(主催：北信公共図書館連絡協議会)(R元.11.21)
- ・「令和元年度大北図書館のつどい：“知ること”っておもしろい！図書館だからできる“ワクワクする体験”を考えよう」(主催：大北図書館協会)(R2.2.1)
- ・「中信地区図書館職員及び公民館図書室職員連絡会研修会：“世界の入口”のみつけかた～知るって楽しい！をプロデュース」(主催：中信地区公共図書館職員、公民館図書室職員連絡会)(R2.2.13) ほか

ウ 先進的モデル空間の創出

「共知・共創(共に知り共に創る)」をコンセプトに、人と人がつながり、共に学びあい、新たな社会的価値が創造されていく場所として「信州・学び創造ラボ」を4月にオープン。

- ・利用状況(H31.4.-R2.3)

催し 都道府県立図書館サミット2019、ものづくりラボ ほか 162件

視察 大阪市立中央図書館、石川県立図書館、小千谷市教育委員会 ほか 36件

取材 SBC信越放送ずくだせテレビ ほか 23件

エ 図書館業務システムの更新とホームページの刷新

(R2.3.1)